

平成25年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400079	事業の開始年月日	平成18年12月1日
		指定年月日	平成24年12月1日
法人名	株式会社ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷		
所在地	(〒246-0006) 神奈川県横浜市瀬谷区上瀬谷町56-4		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成25年7月6日	評価結果 市町村受理日	平成25年9月2日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

色々な団体のボランティアの方々にお越しいただき交流をしています。特に、演奏会の時は一緒に歌を歌ったりリクエスト曲を演奏して下さる為、ご利用者様もとても楽しみにしています。又、毎月季節にちなんだ行事を企画し季節を感じていただけるようにしています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成25年7月25日	評価機関 評価決定日	平成25年8月20日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p><事業所の優れている点></p> <p>◇地域との交流</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の人に事業所を知ってもらうおうと年4回地域懇親会を開き、住民に参加を呼び掛けている。夏には子どもたちの参加を期待して、流しそうめんを計画するなど、地域交流の活性化に努めている。・毎月行事を行い、ボランティアの方による日本舞踊、オルガン、フラダンス、トーンチャイム演奏会などが行われ、地域の方と楽しく交流している。 <p>◇事業所の理念「笑顔・気配り・安心」の実践</p> <ul style="list-style-type: none">・職員は、利用者との関係では理念の実践に努め、食事介助では複数の職員がお互いに協力し合って、笑顔と気配りの介助が行われていた。 <p><事業所が工夫している点></p> <p>◇利用者の残存機能の保持を目的として、午前中、職員の声かけで利用者のできる範囲内で手や身体を伸ばす、足を上げるなどの体操をしたり、フローアを歩いたりしている。食前には口腔体操を行っている</p> <p>◇誤薬を防止するため、薬を食事ごとに、利用者の写真のついたプラスチックケースに入れ、利用者に渡す前に写真と名前を照合し確認している。「3秒ルール」を作り、渡すとき、服薬するとき3秒待つて確認、余裕をもった介助を心がけている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷
ユニット名	2U

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらいの
		3. 利用者の1/3くらいの
		4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまにある
		4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3. 家族の1/3くらいと
		4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66 職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔・気配り・安心」を理念とし都度確認し合い業務に反映出来るように努めている	・現ホーム長就任時に、職員同士であるべき姿を話し合い、ホーム独自の理念を「笑顔、気配り、安心」と決めて、事務所に掲示している。 ・職員は利用者への声かけを多くし、コミュニケーションをとり、利用者の立場に立った温かい支援に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している。掃除や地域のお祭り等参加している。又、ホーム内で行事を行う時は、チラシを作成し近隣住民に配布している。七夕の行事で使用する竹をいただいている。	・町内会の春秋の掃除や地域の夏祭りに、利用者も職員と一緒に参加して地域との交流を深めている。 ・毎月行う行事には、ボランティアによる楽器演奏会や日本舞踊会が行われ、近隣の方も招待して、利用者は楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームに気兼ねなく立ち寄れるような環境作りに努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、会議を開催している。地域の方との関わりが難しい所もあり、意見交換もさせていただいている。	・運営推進会議は自治会長、民生委員、入居者家族、地域包括支援センター職員、瀬谷区役所高齢者支援担当者が参加し、2カ月ごとに開催している。 ・運営推進会議では、避難通路には物を置かない、地域交流では子どもとの交流を検討するようにアドバイスを受けた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区役所と地域包括に出向き、ご利用者様の相談に乗っていただくことがあります。	・瀬谷区高齢福祉課、地域包括支援センターとは常に連絡を取り、利用者の入院が必要になった場合に備え病院情報を教えて貰ったり、また、行政からは入所可能か否かの問い合わせも受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ推進を掲示しています。 月1回ホーム内の会議にて勉強会を開催しています。又、安全対策委員会の研修報告も行っています。	・毎月の全体会議や各フロア会議で研修を行い、本社の安全対策委員会での研修の報告を行い、拘束のないケアに取り組んでいる。 ・3ヶ月毎にチェックシートで拘束をしないケアを確認している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	安全対策委員会での研修報告を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明時その都度確認させていただきながら契約を行っています。又、入居後も疑問等あればその都度対応させていただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回の家族会やご面会の際、意見や要望を伺っています。又、玄関に意見箱を設置しています。対応出来る事については迅速に対応させていただいています。	・家族からは来訪時や家族会のときに積極的に意見・要望を伺い、会えない家族からは電話のときに聞くように努めている。 ・歩く機会を多くとの家族の意見には、利用者に、お散歩以外にも階段をゆっくりと歩いてもらうようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や個人面談を行い意見等を聞き、皆で一緒に考え解決するように努めています。	・管理者は職員会議や日頃の会話を通して職員から意見や提案を聞いている。 ・利用者の身体活動能力の衰えから入浴に時間を要するようになり、職員と協議の結果、昨年から午前中の入浴も開始している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	面談をし管理者は面談結果を代表者に報告し給料に反映させています。 ご利用者様の重度化もあり業務の見直しを行う等環境整備を行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修に参加出来るように勤務調整を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人との交流で情報交換をしています。又、同業者の主催する研修等にも参加出来るようにしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前事前調査でご自宅等に訪問し困っている事、不安な事等を聞き取り安心して過ごせるよう関係作りに努めています。 個々の要望に可能な限り応えるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	何かあればいつでもご連絡をいただけるように伝えています。又、必要に応じ話し合いの場を設けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今一番必要としている支援に対しお話しを伺い、サービスが必要な場合には、出来るだけ支援させていただきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	安心して生活出来る環境作りを行い、ご利用者様の気持ち・意思を尊重し自然体で生活出来る環境作りを努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	手紙や電話等で連絡を取り、お互いの情報を共有しホームでのイベント等に参加していただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気軽に来ていただけるようご家族様には伝えています。又、ご希望があれば電話で話したり手紙を書く等出来る環境を作っています。	・利用者の高齢化にともない、友人の来訪、手紙のやり取りは難しくなってきたが、来訪時にはお部屋にお茶を出したり、電話を取り次いだり、年賀状を職員が代筆するなどの関係継続の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事やレクリエーションを行ったり、皆で出来る事を提供したりし関わりあえる環境作りに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時でも、必要に応じ今後の生活に必要な情報提供や相談を受けたりしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話の中から思いを引き出し、希望・意思を把握するようにしています。その後、ご家族様とご利用者様との話し合いの場を設けています。	・職員は利用者との日々の会話から一人ひとりの希望や意見を把握し、個別のファイル、申し送りノートに記録して内容を職員が共有し、フロアー会議で情報の共有をしている。 ・意思疎通の困難な場合には、表情や仕草から本人の意向を推察して、心地よく過ごせるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居事前調査での聞き取りや関わりの中で、情報を伺い職員と共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録、健康記録等でご利用者様の状態を把握し、一人一人のペースに合った生活環境作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様とご利用者様のご意向を伺い、職員とカンファレンスを開催後、介護計画書を作成しています。必要時、主治医、看護師、薬剤師等と話しをしています。	・介護計画は3ヶ月毎に見直しを行い、状態に変化があればその都度見直している。 ・介護計画の見直しでは居室担当者が家族の意見を聞き、必要に応じて主治医、看護師から意見を出してもらい、フロアー会議で話し合いの上、利用者の現状に合った計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者様個人の申し送りを作成し、職員同士が共有し反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様やご利用者様からの希望や要望等に対し出来る限り対応し、外出等の個別対応も行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議で包括支援センター他事業所との交流を図っています。 自治会に加入しています。地域に住んでいるボランティアの訪問が定期的にあります。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様のご希望される医療機関へ受診される方もいます。又、ご利用者様の状況に合った医療機関での診察を支援しています。	・全利用者が家族の了解のもとに協力医を主治医とし、月2回の内科の往診を受けている。 ・歯科医が月2回訪問診療をし、歯科衛生士が週1回口腔指導に来訪している。 ・通院は家族の付き添いを原則としているが職員が対応していることもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が週1回勤務され、ご利用者様の状態を把握して下さっている。必要に応じ、主治医に連絡をとり相談を下さっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期退院が出来るように、医療関係者やご家族様と連絡をまめに取っています。退院後も安心して生活をしていただけるよう医療関係者と連携をとり対応出来る体制作りを努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に説明をし、ご家族様の希望を伺い、医療、職員、ご家族様とひとつのチームとなり支援しています。	・設置法人制定の重度化した場合の対応指針があり、入居時に家族に説明の上、同意を得ている。 ・昨年の2件の看取りの経験を通じて 家族の希望、本人の状況に合わせた支援を行うための医師・看護師・職員の協力体制ができています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを基に対応。 地域の消防署の協力の元、応急救護の訓練を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施しています。その内の1回は、夜間想定避難訓練とし地域の方や自治会の方に参加していただき連携をとれる体制作りをしています。	・年2回、例月実施のほかに消防署立会いで、地域の方々の協力を得て夜間想定避難訓練を行っている。消防署指導の際、避難場所の扉のところにベンチと椅子が置いてあるとの指摘があり移動した。 ・災害備蓄品は水と缶詰がある。	・火災や地震、水害等の発生時に備えて食料や排泄用品、防寒具等の備蓄準備をお勧めします。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活歴、既往歴に配慮し、ご利用者様のペースに合わせた声掛けを心掛けています。	・新入職員には言葉使い・接遇・利用者の人格の尊重・プライバシーの確保などについて研修し、日々の介護の中で活かされている。 ・個人情報の含まれる書類は鍵のかかるキャビネットに保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様が、何を望んでいるかを日々の関わりの中から引き出し自己決定出来るよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の生活スタイルを大切にし、伝えやすい環境を作っています。可能な限りご利用者様のペースに対応出来る勤務体制を作成しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回、地域の美容室の方に来ていただき、ご利用者様のご希望を伝え散髪をしていただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付け、片付け等を職員と一緒にしています。又、職員と一緒に食事をします。時々、出前や希望の食事をする事もあります。	・食事は外部業者に委託しているが、利用者有志は盛り付けや片づけなどできる範囲で手伝っている。 ・利用者の好みのお寿司などは、家族会の時にメニューに反映している。利用者の状態によって、日常的にミキサー食やキザミ食などに対応している。 ・職員も利用者と一緒に食事をし、さりげなく一人一人に合った介助しながら、楽しい雰囲気づくりに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人に合った食事形態を提供しています。 食事量、水分量は1日を通じて確認をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師、歯科衛生士の指導の基、毎食後の口腔ケアの声掛けをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、ご利用者様一人一人に合った排泄介助をしています。	・排泄チェック表で一人ひとりのパターンを把握し、声かけ誘導をして、トイレで排泄するように自立に向けた支援をしている。 ・夜間は時間を決めて、声かけ誘導している。夜間だけポータブルトイレを利用する利用者が1名いる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量、水分量を把握し、適度な運動の声掛け等行っています。医療関係者に報告し指示をいただいています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者様のご希望を出来るだけ考慮し入浴をしていただいています。又、入浴を拒む方に対しては、安心して入浴していただける様工夫をしています。	・入浴は3日に1回を基本とし、更に入浴の希望があれば随時応じている。1日に午前、午後で3人が入り、歌をうたったりゆっくりと楽しんで入れるように支援している。 ・入浴を好まない方には時間おいて、職員を代えて声かけをしている。 ・リフト浴を8名が利用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活リズムを大切に、眠れない場合は、一緒に過ごしたりし安心出来る環境作りをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者が、どんな薬を服用しているかすぐに把握出来るように薬剤情報のファイルを作成しています。又、薬剤師が薬を届けて下さる時は、指導を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	無理のない範囲で職員と共に出来る事を行っていただいています。又、イベント等企画をし楽しみを持つこと、気分転換が出来るようにしていただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用者の体調等を確認のうえ、外出等支援をさせていただいています。	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の良い時には近所の川浴いを、車イスの方も散歩に出ている。利用者全員で近くの八幡神社に初詣に出かけたり桜の時期には花見に出かけている。 ・希望により買い物に職員と一緒にすることもある。 ・遠出やドライブは家族にお願いしている。 	・利用者の外出は運動機能の維持のみならず、気分転換にもなります。暑い寒いを問わず、工夫をして、外気浴を含めて計画的に支援をすることが期待されます。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	移動パン屋やヤクルト販売が来るので、好きな物を購入していただいています。又、必要に応じてデパート等への買い物をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話でお話しが出来る環境作りをしています。手紙を書くのは難しくなってきたので、必要に応じ職員代筆で行う時もあります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除は毎日しています。季節に合った物をご利用者様と一緒に作成し飾らせていただいています。	・リビングは広くゆったりとし、窓は大きく採光は豊かで、室内は明るく清潔に保たれている。 ・利用者は自分の好きな席に座り、TVを見たり、お話しをしたりして過ごしている。 ・壁面には職員と利用者が一緒に作成した季節の貼り絵などを飾っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアのTV前にソファを置き、他ご入居者様と共有出来る空間作りをしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	愛着のある家具や使い慣れた生活用品を配置し、安心、安全に生活していただけるようにしています。	・ベッド、エアコン、クローゼット、カーテン、洗面台が備付けてある。 ・居室は入口には職員手作りの暖簾がかけられ、机や椅子、衣類ケースなど好みの家具、ぬいぐるみ、家族の写真、仏壇を持ち込む人もいます。馴染みの品に囲まれて、居心地良く過ごせる場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全を第一に考え、その時に応じて工夫をし配置替えをしています。		

事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷
ユニット名	1U

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらい
		3. 利用者の1/3くらい
		4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまにある
		4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3. 家族の1/3くらいと
		4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66 職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔・気配り・安心」を理念とし都度確認し合い業務に反映出来るように努めている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している。掃除や地域のお祭り等参加している。又、ホーム内で行事を行う時は、チラシを作成し近隣住民に配布している。七夕の行事で使用する竹をいただいている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームに気兼ねなく立ち寄れるような環境作りに努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、会議を開催している。地域の方との関わりが難しい所もあり、意見交換もさせていただいている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区役所と地域包括に出向き、ご利用者様の相談に乗っていただくことがあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ推進を掲示しています。 月1回ホーム内の会議にて勉強会を開催しています。又、安全対策委員会の研修報告も行っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	安全対策委員会での研修報告を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明時その都度確認させていただきながら契約を行っています。又、入居後も疑問等あればその都度対応させていただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回の家族会やご面会の際、意見や要望を伺っています。又、玄関に意見箱を設置しています。対応出来る事については迅速に対応させていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や個人面談を行い意見等を聞き、皆で一緒に考え解決するように努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	面談をし管理者は面談結果を代表者に報告し給料に反映させています。 ご利用者様の重度化もあり業務の見直しを行う等環境整備を行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修に参加出来るように勤務調整を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人との交流で情報交換をしています。又、同業者の主催する研修等にも参加出来るようにしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前事前調査でご自宅等に訪問し困っている事、不安な事等を聞き取り安心して過ごせるよう関係作りに努めています。 個々の要望に可能な限り応えるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	何かあればいつでもご連絡をいただけるように伝えています。又、必要に応じ話し合いの場を設けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今一番必要としている支援に対しお話しを伺い、サービスが必要な場合には、出来るだけ支援させていただきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	安心して生活出来る環境作りを行い、ご利用者様の気持ち・意思を尊重し自然体で生活出来る環境作りを努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	手紙や電話等で連絡を取り、お互いの情報を共有しホームでのイベント等に参加していただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気軽に来ていただけるようご家族様には伝えています。又、ご希望があれば電話で話したり手紙を書く等出来る環境を作っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事やレクリエーションを行ったり、皆で出来る事を提供したりし関わりあえる環境作りに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時でも、必要に応じ今後の生活に必要な情報提供や相談を受けたりしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話の中から思いを引き出し、希望・意思を把握するようにしています。その後、ご家族様とご利用様との話し合いの場を設けています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居事前調査での聞き取りや関わりの中で、情報を伺い職員と共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録、健康記録等ご利用者の状態を把握し、一人一人のペースに合った生活環境作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様とご利用者様のご意向を伺い、職員とカンファレンスを開催後、介護計画書を作成しています。必要時、主治医、看護師、薬剤師等と話しをしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者様個人の申し送りを作成し、職員同士が共有し反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様やご利用者様からの希望や要望等に対し出来る限り対応し、外出等の個別対応も行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議で包括支援センター他事業所との交流を図っています。 自治会に加入しています。地域に住んでいるボランティアの訪問が定期的にあります。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様のご希望される医療機関へ受診される方もいます。 又、ご利用者様の状況に合った医療機関での診察を支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が週1回勤務され、ご利用者様の状態を把握して下さっている。必要に応じ、主治医に連絡をとり相談をさせて頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期退院が出来るように、医療関係者やご家族様と連絡をまめに取っています。退院後も安心して生活をしていただけるよう医療関係者と連携をとり対応出来る体制作りを努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に説明をし、ご家族様の希望を伺い、医療、職員、ご家族様とひとつのチームとなり支援しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを基に対応。 地域の消防署の協力の元、応急救護の訓練を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施しています。その内の1回は、夜間想定避難訓練とし地域の方や自治会の方に参加していただき連携をとれる体制作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活歴、既往歴に配慮し、ご利用者様のペースに合わせた声掛けを心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様が、何を望んでいるかを日々の関わりの中から引き出し自己決定出来るよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の生活スタイルを大切にし、伝えやすい環境を作っています。可能な限りご利用者様のペースに対応出来る勤務体制を作成しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回、地域の美容室の方に来ていただき、ご利用者様のご希望を伝え散髪をしていただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付け、片付け等を職員と一緒にしています。又、職員と一緒に食事をします。時々、出前や希望の食事をする事もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人に合った食事形態を提供しています。 食事量、水分量は1日を通じて確認をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師、歯科衛生士の指導の基、毎食後の口腔ケアの声掛けをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、ご利用者様一人一人に合った排泄介助をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量、水分量を把握し、適度な運動の声掛け等行っています。医療関係者に報告し指示をいただいています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者様のご希望を出来るだけ考慮し入浴をしていただいています。又、入浴を拒む方に対しては、安心して入浴していただける様工夫をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活リズムを大切に、眠れない場合は、一緒に過ごしたりし安心出来る環境作りをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者が、どんな薬を服用しているかすぐに把握出来るように薬剤情報のファイルを作成しています。又、薬剤師が薬を届けて下さる時は、指導を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	無理のない範囲で職員と共に出来る事を行っていただいています。又、イベント等企画をし楽しみを持つこと、気分転換が出来るようにしていただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用者の体調等を確認のうえ、外出等支援をさせていただいています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	移動パン屋やヤクルト販売が来るので、好きな物を購入していただいています。又、必要に応じてデパート等への買い物をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話でお話しが出来る環境作りをしています。手紙を書くのは難しくなってきたので、必要に応じ職員代筆で行う時もあります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除は毎日しています。季節に合った物をご利用者様と一緒に作成し飾らせていただいています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアのTV前にソファを置き、他ご入居者様と共有出来る空間作りをしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	愛着のある家具や使い慣れた生活用品を配置し、安心、安全に生活していただけるようにしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全を第一に考え、その時に応じて工夫をし配置替えをしています。		

